

ニューヨーク育英学園のニュージャージーキャンパスでは、10月8日(日)に、毎年恒例のバザーが行われました。

天候が心配されましたが開始前には、来場者の長蛇の列が1ブロック先までできるほどで、多くの人が訪れました。

園舎内では、バザーに協賛する日系企業のブースや雑貨コーナー、衣類コーナーの他にも、恒例の親子体力測定会も行われ、自慢の筋力を披露するお父さん、お母さんや子ども達の笑い声がこだましました。園舎裏庭にはフードコートが設置され、企業寄付の食品に加え、地域企業からのカレーライス、豚汁、菓子パン、学園保護者や職員によるコーヒー、綿菓子、ポップコーンが outlets、こちらも多くの人で賑わいました。

また、学園の全日児童会主催の「育英っ子祭り」が企画され、くじ引きの出し物でバザーに花を添えました。今年のアートコーナーでは、「マイバック作り」が開かれ、来園の記念にと、スタンプングやペイントで自分だけのオリジナルバックを作り、アートにふれる楽しい時間を過ごす親子が多く見られました。

一日、大勢の保護者ボランティア、育英サタデーNJ校中高生のボランティアの協力を得て、会場は、最後まで熱気につつまれ、楽しいバザーとなりました。バザー収益金は学園施設充実および奨学金にあてられます。

お問い合わせ／ファンドレイジング担当：半場 綾子

～今号の目次～

- P.1 学園長よりご挨拶
「アメリカ軟着陸! ソフトランディングのすゝめ」②
「両親もつらいよ」編
- P.2 N J キャンパス全日制部門からのお知らせ
- P.3 N J キャンパス全日制英語科からのお知らせ
- P.4-5 育英サタデー・サンデースクール特集
- P.6 フレンズアカデミー特集
- P.7 りんごラーニングセンター特集
- P.8-9
- ・JCSのご案内
 - ・いろはにほんご教室 ～N J キャンパス～

- P.10 2018年度NY育英学園
全部門募集要項・登録要項発表!

奨学金基金&寄付金 企業・個人の皆様

TOPCON AMERICA CORPORATION
ANDO CHIROPRACTIC, LLC
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING GROUP

FUJI ELECTRIC CORP. OF AMERICA
MS. HIOE, CATARINA
LEMOINE DENTAL GROUP
PARKWAY TOYOTA
MS. SHIMAZAKI, RISA

ADVOCARE PEDIATRIC OPHTHALMOLOGY ASSOCIATES
AMAZON.COM, INC.
AMNET NEW YORK, INC.
DAICEL CHEMTECH, INC.
DAINOBU USA, INC.
DAIWA CAPITAL MARKETS AMERICA INC.
MR. DOI, SHINICHI
FUNDING FACTORY
THE IWAOKA FAMILY
KATSUKO SALON INC.
KELLYS AUTOMOTIVE SERVICE INC.
KISO & TANAKA, LLP
MS. KORN, CHIZUKO
M.D. KUWAMA, YUICHIRO & CHIKA
M.D. MATSUKI, TAKASHI
NIPPON KAJI KYOKAI, NEW YORK OFFICE
NISSIN INTERNATIONAL TRANSPORT U.S.A., INC.
MR. NOZAKI, TOSHIRO
MR. SAKURAI, MOTOATSU
SCHEPISI & MCLAUGHLIN, P.A.
SOJITZ CORPORATION OF AMERICA
SUMITOMO REAL ESTATE SALES (N.Y.), INC.
MR. TOKUHIRO, TAKAAKI
MR. YOSHIDA, REIZO

AMERICAN JAPAN KARATE ASSOCIATION, INC.
ANTAO & CHUANG ATTORNEYS AT LAW
BERGEN PROTECTIVE SYSTEMS
BOGLE AGENCY INC.
GULLIVER EAST, INC.
DMD. IMAEDA, HIROMU
ISHITANI HEALTH CENTER
MINAGA INC.
MR. OKAMOTO, HIROHARU
OVERSEAS JAPANESE FAMILY DENTAL PLLC
MR. OZAWA, JUNICHI
REALTY INTERNATIONAL, INC.
SAKURA CHORUS
SYLVAN AUTO REPAIR, LLC
TREND POT NY, LLC



品物 企業・個人の皆様

ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD. NEW YORK OFFICE
ANDO CHIROPRACTIC, LLC
BENJAMIN STEAKHOUSE
BROTHER INTERNATIONAL CORPORATION
DAIKIN AMERICA, INC.
DEL'S PEST ARREST INC.
HOLIDAY INN HASBROUCK HEIGHTS
HOUSE FOODS AMERICA CORPORATION
ISHITANI HEALTH CENTER
ITO EN (NORTH AMERICA) INC.
MS. IWAOKA
KOKORO INTERNATIONAL, INC.
LA RIPAILLE RESTRANT
MCDONALD'S
METROPAGES INC.
NEW YORK MUTUAL TRADING, INC.
NHK COSMOMEDIA AMERICA, INC.
NIHON SHIKA GROUP
NIPPAN DAIDO, INC.
PEKING DUCK HOUSE
SAKURA SHOJI
SEIKO CORPORATION OF AMERICA
SHARP ELECTRONICS CORPORATION
SYLVAN GRACE FLORIST
THE TAKESHIGE FAMILY
TOKYO-FROST VALLEY YMCA
TOLEDO RESTAURANT
MR. YAMADA, MUTSUMI
YAMATO TRANSPORT U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING GROUP

出店企業の皆様

AMNET NEW YORK, INC.
IACE TRAVEL
KOSAKA'S KITCHEN, LLC.



① Autumn is for Art! Did you see the harvest moon?
② Yes!



③ On the moon,
④ I saw an old woman reading a book.
⑤ It seems autumn is for reading for you.



⑥ ⑦ Really! I thought that a rabbit was pounding mochi on the moon, right?
⑧ You can see a big crab, can't you?
⑨ Mochi? A crab?



⑩ I'm getting hungry.
⑪ The round moon looks like a cheese cake.
⑫ It looks like a *manju? to me.
⑬ (Stomachs growling)
⑭ It seems that autumn is for eating for you guys.
* Manju? (MAHN-jew) is a Japanese traditional steamed bun, usually filled with sweet red bean paste.

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)

Copyright © Japanese Children's Society, Inc.



「アメリカ軟着陸! ソフトランディングのすゝめ」②

初めての海外生活! アメリカに来たお父さんは新しい環境、新しい職場に着いて自分の足場を固めるだけでも大変です。外国人の部下・上司の中、暫くは慣れるのも至難のワザ。後で渡米予定のファミリーの先発隊としての役目もありますが、忙しくて学校探しをするにもなかなか時間がないとのこと。働くお父さんも辛いですね。会社からの海外駐在の依頼、それも NY への派遣で大変名誉なことです。

しかし家族の同意を得る条件としては大きく3つあります。

- ① 安全な家。母子が安心して過ごせる住居とその環境。
- ② 子どもの学校。毎日ニコニコ楽しく登園登校してくれ、バイリンガルにしてくれる学校。
- ③ お母さんの精神的安定。充実した生活の為、日系スーパー等日本食が手に入る場所と、母親が集い合える場所があればいい。お父さんが安心して働く為に、この条件は外すわけにはいきません。

NY 育英学園には毎日メールが来ます。電話もかかってきます。「幼児部に空きはありますか?」「上の子は小学生ですが今から入れますか?」「入園前の赤ん坊がいるんです。親子教室はありますか?」「マンハッタンに住むんですが、受け皿はありますか?」

不安な声での質問は次々とあります。初めての場所での手探り期間はお母さんも辛いですね。しかし、安心してください。本学園 Japanese Children's Society には37年間の蓄積があります。親子教室と2歳半から受け入れている「きりんのへや」。3歳児から小学6年生までの全日制。週日のアフタースクールやサンデースクールには幼児部と小学部。そしてサタデースクールには年中組から高校までがあります。

全日制幼児部小学部には、今のところまだ余裕があります。マンハッタンのフレンズアカデミーの全日制たんぽぽ幼稚園にもまだ入ることができます。(2017年9月末現在)

NJ フォートリーにありますりんごラーニングセンターの「きりんのへや」には、30人までの2歳半児からの受け入れがあります。早朝から夕方方までのお預かりも可能です。ママ友を作るにも便利で、人気があります。

1歳・2歳児の親子教室は、りんごラーニングセンターと、フレンズアカデミー(マンハッタン103丁目)の両方にあります。是非利用してください。

「マンハッタンに住むか NJ に住むか迷っています。」とよく言われます。お子様と一緒にフレンズと NJ 校を見学なされ、ご自分の目で選んでください。キンダーの大きな子には、スクールバスを利用してでも、緑のグラウンドや泥遊びのできる NJ を気に入るかもしれません。ぜひご両親で見届けてください。

「転校生としてうまく友達が作れますか?」

安心してください。どの子もついでの間までは転校生でした。ほとんどの子は不安を抱えて入ってきた訳です。皆、やさしくなります。いじめはありません。

全日制の1年生になれば、英語での授業が週に10時間、日本語での授業は24時間になります。もっと英語をやりたい子の為に、アフタースクールの ESL 教室、りんごラーニングセンターの土曜日の英語補習教室。バイリンガルの先生とネイティブの先生の掛け合いもある楽しい授業がそこにはあります。子ども達の理解は早いです。日本語の授業にも英語の授業にも自信を持った子の中には「現地校で自分を試したくなった。」という児童も出ています。学園の先生たちは喜んで送り出します。学園のクロスメソッドが試される時です。日本から来てすぐ現地校に入るよりは、自分を見失うことなく、自分から英語社会の中を自らの力で泳ぎ始めます。そこまで行けば一安心です。その場合子ども達は、日本語の方は育英サタデースクールやサンデースクールそしてアフタースクールを利用しています。マンハッタンのフレンズアカデミーにも土・日曜日の国語算数教室がありますし、週日のアフタースクールもあるので便利です。半日でも日本語で集中的に学ぶことができます。子ども達の中にはもう一カ国語の必要性があり、トライリンガルの子達も少しずつ増えています。たくましく力強く次の時代を生き抜き、時代のリーダーになってほしいものです。

「また戻ってきました!」とオフィス前に立つ晴れやかなお母さんと子ども達もいます。当地が2回目、3回目のファミリーにとっては勝手知ったる NJ、NY。「この学園に来ると日本よりもホッとするよ。」という子もいます。しかし、ほとんどのお母さんには

「両親もつらいよ」編

初めての海外生活。ましてや日本でも大変な子育てを新しい土地で日本語以外の環境で…。

お母さんが辛いのは、出張がちで、夜帰宅の遅いご主人。あまりあてにはできませんね。いくら、中高大で長い間英語を学んだとは言え、訛りの強い英語の世界での日常生活。スーパーのレジでの聞き取れぬ数字。ハンディーマンを修理に呼んでもなかなか通じない言葉。「ストレスの多い中、せめて子どもの先生や学校とは隙間のない会話をしたい。」と言われるのはもっともです。

その希望に答えることができるのは NY 育英学園です。担任との日本語でのやりとり、クラブ活動の先生達との連絡、放課後のピアノ・習字等の習い事も日本語で相談ができます。スクールバスの添乗員やオフィスの担当者はすべて日本人です。大人の英会話クラスはりんごラーニングセンターで受けることができます。ビジネス英語のクラスで学ぶお父さんもお母さんもお母さん。

「来たばかりの時は不安でしたが、何とか会話もできるようになり、親子共々アメリカ生活を楽しむことができました。」と、充実した顔の帰国予定者に会うと、「ラーニングセンターを作ってよかった。」と思います。子どもだけではなくお母さんお父さんにも役に立っています。

是非皆さんにソフトランディングの NY 育英学園を利用していただき、充実したアメリカ生活を楽しんでくださる様希望いたします。

ニューヨーク育英学園学園長



「園長像」

(絵) 2017年度NJ全日制小学部

第2学年 石ヶ原 ジェット

NJ キャンパス全日制の特色ある保育・授業

ニューヨーク育英学園 NJ キャンパス全日制部門では、年間を通して、特別なカリキュラム・プログラムを取り入れ、体験的な活動を通して、のびのびと学びながら豊かな心を育み、国際人としての資質を育成しています。

幼児部～体験的な専科学習～

幼児部では様々な専科を取り入れています。特別なカリキュラムを体験することにより、子ども達は楽しみながら知識や技術を高め、経験を力に繋げてきました。今回は、そんな専科の様子を紹介します。

特色ある専科プログラム

英語専科『ESL』 学園のプリクロスメソッドに沿って全クラス『毎日英語』を基本に、毎日英語に触れて活動しています。

美術専科『アートクラス』 英語で指導を行うアートクラス。毎回新しい素材に出会い、想像力と表現力で製作を楽しみます。

運動専科『動きマッスル』 ボールや跳び箱、マット運動を通して身体の使い方をしっかり習得し、楽しみながら運動技能を高めていきます。

食育専科『クッキング』 クッキングを通して食育を受け、食べ物や栄養素、身体づくり等を知っていきます。

音楽専科『ミュージック』 専門家による指導に沿って様々な楽器を体験し、合奏から生まれる美しい音楽が五感を刺激します。

ヨガ体操専科『ファンファンヨガ』 キッズヨガを体験しながら、身体のバランスや筋肉を鍛えていきます。

特別専科『バイオリン』 年長組対象の特別専科・バイオリン教室です。一人ずつバイオリンを持ち、少人数制のレッスンを行います。

日本文化の専科『わわわキッズ』 折り紙や数の数え方、わらべ歌など、体験しながら日本文化を習得していきます。



小学部～地域に根ざした偉人学習「先人に学ぶ」

3年生から始まる小学校社会科。3年生と4年生では自分達の住んでいる地域（市や県など）の学習、5年生では国土の地理的環境とそこで営まれている産業に関する学習、6年生では政治、歴史及び国際理解に関する学習を通して、社会科の究極的なねらいである、公民としての資質の基礎の育成を目標に深い学びを目指しています。

ニューヨーク・ニュージャージー地域は、世界的に素晴らしい業績を残した「高峰譲吉博士」、「野口英世博士」の歴史を存分に感じ、学べる良い場所です。本学園では、第4学年を学習する学年と位置づけ、「郷土の発展につくす」という單元において、毎年ゆかりの地を訪れています。

松楓殿見学～高峰譲吉博士に思いをはせて～

アドレナリンを世界で初めて抽出したり、タカジアスターゼを発明したりして世界的に有名な高峰譲吉博士の偉功である松楓殿（ニューヨーク州キャッツキル）を訪れています。この松楓殿は、高峰譲吉博士が日本とアメリカの架け橋の役割を果たしたいという願いとともに、迎賓館として使いたいという思いのもと、1904年にセントルイス万博で日本パビリオンとして使用された建物を多額の私費を投じてニューヨークに移築したものです。広大な森に広がる松と楓の木々、石の灯籠、そして京都御所風寝殿造りをモデルとした荘厳な屋敷を見て、子ども達は、「わー、日本にいるみたい。」と思わず声を上げていました。庭園には、日本からアメリカに初めて運び込まれた楓も現存しており、この一本の楓から、アメリカ中に広がったということです。また、一般に公開されていない為、なかなか普段目にする事のできない施設とあって実際に松楓殿を訪れた子ども達は、ここアメリカに佇んでいる素晴らしい日本式の建築物に、「すごい。」という言葉しか出てこない様子でした。



柔らかな杉苔に覆われた敷地内。足音さえも吸い込まれるような清閑な佇まいは、日頃騒々しい街中で生活する子ども達に大きな驚きと感動を与え、桜の植樹で有名な日米交流の歴史に貢献した高峰譲吉博士の功績をさらに深く感じていました。そして、松楓殿の内外を見学した子ども達は、案内の方の話に真剣に耳を傾け、当時の様子を回想していたようでした。子ども達は、庭園に芽吹いた日本からの楓の苗木を受け取り、太平洋を渡った博士が楓に込めた思いを振り返りつつ、学園に戻り園庭に移植しました。この楓は、これからの国際人として羽ばたく学園の子ども達の象徴となっていきます。

ウッドローン墓地見学

ニューヨーク州ブロンクス区にあるウッドローン墓地は、アメリカで活躍した高峰譲吉博士と野口英世博士が眠る墓地です。

本学園では、学習の一環として毎年この墓地を訪れています。黄熱病の研究をしながらガーナのアクラで亡くなった野口英世博士、ジヤスターゼやアドレナリン発明で有名な高峰譲吉博士という日本を代表する二人の活躍や功績について学習してきた子ども達です。野口英世博士については、逝去時、ロックフェラーの希望で鉄板の棺桶を作って当地へ運ばれてきたという逸話が有名です。子ども達は「日本人がアメリカでここまで活躍し評価されているとは思いませんでした。」「同じ日本人として心から誇りに思う。」と二人の残した偉大なる功績に驚きを示しつつ、感嘆の声を口々にしていました。

野口英世博士の墓前で、実際に博士とその妻が共に永眠している棺桶の位置や様子について説明を聞くと、子ども達はその土の上に手を置き、それぞれが思い思いのメッセージを語りかけていました。もう一つは、学校の教室半分ほどの大きさであろう高峰譲吉博士の墓。大きな納骨堂にはステンドグラスの中に描かれた富士山の絵や日米国旗が色鮮やかに飾られています。100年以上も前に渡米し、医学・科学の発展のみならず、日本からアメリカへ数千年の桜の樹を寄贈するなど、日米交流の架け橋として活躍した高峰譲吉博士。その人間としての強さや懐の深さに子ども達は深く感銘を受けていました。

日本から遠く離れ、アメリカに骨を埋めた偉人たち。将来、世界の第一線で活躍し、評価される人物になるためには「今、何を学び、何をすべきか」。それぞれが将来の夢に向かって、思いを馳せる学習となっています。



保育教育シリーズ #1 ～Tools of the Mind～

このコーナーではニューヨーク育英学園の様々な分野のスタッフが身近な保育や教育の理論と実践を紹介するコーナーです。

第1回目は**Tools of the Mind**です。＜今回の紹介者＞サタデースクール総合ディレクター：上妻雅浩

Tools of the Mind

ヴィゴツキー (Vygotsky, Lev 1896-1934 ロシアの心理学者) の言語と発達を考え方を元に Cognitive, Social-Emotional, Self-Regulator, Foundational Academic Skill の発達を促すために 1990 年台の半ばごろから Dr. Deborah J. Leong や Dr. Elena Bodrova らによって開発されてきた幼児教育の方法です。幼児教育のゴールを Foundational Academic Skill や Content Knowledge の習得と同時に Self-Regulation や Executive Functioning を築くこととしています。

まず、ヴィゴツキーの考えについて簡単に触れます。ヴィゴツキーと言えば、「発達の最近接領域」(ZPD, Zone of Proximal Development) という考え方が最も知られているものの一つです。「発達の最近接領域」とは補助があればできることと自分だけでできることの間 (あいだ) の領域のことで、子どもがこの領域にいる時、もしくは、この領域に子どもを誘導することにより、例えば、あることができるようになるための補助、また

はそのための道具 (Scaffolding 足場) を与えることで子どもの学習を促すという考え方です。

教室の場面では、グループ学習などで子ども同士が意見やアイデアを交換しあいながら、教師のヒントなどを手掛かりに子ども自らが新しい事柄を学習するという考え方になります。また、教師側からすれば、保育や授業を組み立てる際に、この「発達の最近接領域」を意識することで、子どもの学びの時 (教師側からすれば Teachable Moments) を知り、より効果的に学びへのアプローチができるようになります。そして、保育や授業とは子どもの学びの発達発展に応じて、この「発達の最近接領域」が常に次の段階へと動いていくという考えです。幼稚園や学校での教師の役割を考えるうえで、一つの示唆を与えてくれる考え方だと思います。

ヴィゴツキーは発達心理学に卓越した知見を提供したピアジェ (Piaget, Jean 1896-1980 スイスの発達心理学者) と同じ年の生まれですが、病気のために早逝したこと、ロシア語で書かれた書物であったことなどのため、世界的に知られるようになったのは 1962 年に英語と日本語で翻訳出版された「Thought and Language, 1934」まで待たなくてはならなかったようです。

卒園児童生徒の保護者様（2016年度退園の野坂実生さんのお母様）より

たなか、それだけ楽しかったんだなあ、と有難かったです。

小学部では最初の英語のクラス分けにしょんぼりし (初心者クラスでした)、「必ず上のクラスへ！」と、一生懸命頑張って、夏休みには自分から「りんごラーニングセンターのえいごサマースクールに行く！」と言い出しました。前・後期と通ったのが良かったみたいで、2学期に晴れて上のクラスに一人だけ上がったので、それはもう飛び上がる程喜びました。2年生になっても「次のクラスへ！」と目標を持って取り組み、2学期には2つ上のクラスへ上がったので大きな自信となったようです。日本語も英語

近年、その考えが再び注目され、その一つが Tools of the Mind という形になり、身近な幼児教育の教育現場でも見られるようになりました。

私は数年前からこの Tools of the Mind を実践している学校を見学参観し、先生たちとお話をする機会を持つてきました。そこでは各センター (コーナー) に Make-Believe Play ができるようにセットされており、日本語で言うところの「ごっこ遊び」が展開されるように配置されています。大事な点は遊び始める前に Play Plan を立てることにあります。そこでは役割や活動内容を絵で描いたり、話したりすることが求められます。この Play Plan を立てることが Self-Regulated Learner、つまり、自分自身の学び方を身につけ、学んでいける人となるための第一歩ととらえられています。絵を描くことや話す内容はその後の Writing に繋がるように工夫されています。もちろん、アルファベットと日本語の違いはありますが、日本語を書く学習の導入にも十分に応用可能だと思われます。続きはまたの機会に報告致します。

参考文献：Tool of the Mind Pre-K Manual, Introduction, Background, and Theory 2009-2011

お問い合わせ／サタデースクール総合ディレクター：上妻 雅浩

のさかみう

もパーフェクトなバランスで授業があり、担任の竹山先生は宿題一つひとつにコメントを下さるので宿題もやりがいがあったようです。

育英での学園生活は楽しかった思い出ばかりで感謝に堪えません。本当に有難うございました。日本に戻りますが、NY 育英での楽しかった思い出を胸に親子共々頑張っていきたいと思います。日本での同窓会で先生方にお会い出来るのを心より楽しみにしております。どうぞお元気で。(野坂 里美)



現在は M 校ディレクターへ、という道を辿りながら、2017年の現在に至るまで貴重な体験の日々であった。この学校に来て最初に感じた思いは今も同じである。それは、日本や世界のどんな学校にもない学校であること。公立でもなく、在外の日本人学校とも違う。日本語を軸とした教育理念に基づきつつ、まさに「オリジナル」の、そう「世界に一つだけの」学校であることだ。自由な発想から生まれた企画を教育活動に取り入れて運営する柔軟さ、一人ひとりの個性や個別的な

なものを重視する温かさ、豊かな個性を持つ職員集団。そういった中で日々成長をする子ども達。エネルギーもやる気も元気も、すべては子ども達の成長からもらうことができる。教育・学校という現場は、ともしると、子ども達から大人が育ててもらっているのかも知れない。未来を見つめる瞳を、これからも持ち続けていきたいと思う。



職員へ
ハシリ

育英サマーデイキャンプ

今年のテーマは「宇宙」「冒険」

6月26日(月)から前期3週間、後期2週間の計5週間、7月末まで幼児部・小学部サマーデイキャンプが緑豊かなNJキャンパスで開催されました。

幼児部では、学園の運動場に移動動物園を開園し、牛、ラマ、アルパカ、山羊、七面鳥、アヒル、ひよこなどなど、30匹以上の動物達とのふれあい体験を楽しんだり、空手、和太鼓に挑戦したり、泥んこ遊びをしたり、年長児は本格的な水泳にも取り組みました。

小学部では、段ボール箱を使った手作りプラネタリウム、おもしろ理科実験や、クラス対抗で大いに盛り上がる育英オリンピック、ほぼ毎日行なわれる水泳教室、スクールバスで出かけるフィールドトリップ、英語または日本語の選択制による言葉の学習の時間など、毎日盛沢山の活動に取り組みました。前期後期に各1日あるお泊りキャンプでは、湖水浴に夕食づくり、キャンプファイヤーと大自然を満喫する1日でした。後期のお泊りキャンプでは土砂降りの雨の後の二重の虹にみんな感動しました。



宿泊キャンプ レイクグリーンリーキャンプ場

今年も小中学生27名が、6月25日から7月9日まで、ペンシルベニア州にあるレイクグリーンリーキャンプ場で2週間の宿泊キャンプを実施しました。50年以上の歴史ある同キャンプをニューヨーク育英学園が利用して、今年で22年目。キャンパーをはじめスタッフはアメリカ国内だけでなく、ヨーロッパや南米など世界中から集まってきました。

何といっても安心できるのが学園の男性教員、女性の計2名の教員が子ども達と寝食を共に、同じキャビンで寝泊まりすることです。バイリンガルカウンセラーとして同行し、昼間の諸活動の英語でのサポートをしながら、夜は日本語でのイベントも実施していますので、保護者に皆さんにも安心してできると好評です。初参加でも大家族のように過ごすことができます。広い敷地にはプール、サッカー場、野球場、テニスコート、劇場、アーチェリー場、空中ブランコ、乗馬など、たくさんの施設があり、六十ほどのアクティビティから、それぞれ専門のカウンセラーの指導を受けられます。初めて両親と離れて2週間を過ごす子ども達も多く、今年も子ども達は大きな自信を得たようです。



NJキャンパスにてデイキャンプが開催されている間、放課後にオプションとして毎日午後4時から5時30分まで「野球教室」と「いろはにほんご教室」が実施されています。

野球教室

野球教室では集団でのマナーや礼儀、道具の扱いの指導、そして、様々なトレーニングを盛り込み、体を動かすことの楽しさを感じ、野球の技能向上までを目指しています。毎日の練習の最後には、2チームに分かれて試合を行いました。全くの初心者から、普段から野球チームに入っている子までいるが、どの子も安全に楽しめるように、NY育英特別ルールを設け、全員が投打に活躍し、拮抗した試合の連続で、毎日大いに盛り上がりました。参加者の1人は「ずっと野球をやりたいだったので楽しみにしていた。試合も、1年生から6年生までが活躍できるルールなので、毎日楽しい。」と笑顔で話してくれました。

いろはにほんご教室

一方、夏の間に集中的に日本語の学習をしたいという子ども達のために用意されているのが、「いろはにほんご教室」です。今年目標は「読書感想文を書く」こと。本を読み、感想文を仕上げるまでの過程を、いろはにほんご教室ならではの手法や流れで無理なく取り組みました。仕上がった感想文はコンクールへ応募済み。結果が楽しみです。

お問い合わせ／サマー総合ディレクター：上妻 雅浩

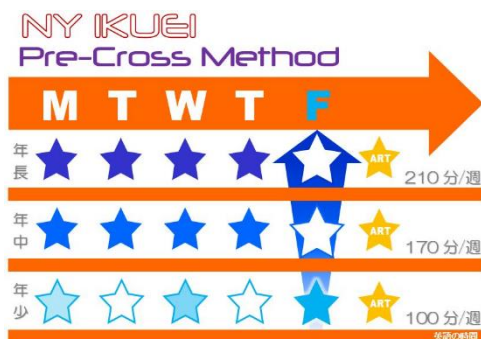
NJキャンパス全日制幼児部の英語教育

幼児部も毎日の英語を！

NY育英学園では、開校以来、幼小一貫の全日制日本人学校として、独自の日英バイリンガルメソッドを開発してきました。近年は国際化の波に乗り、日本語での教育をベースにしつつも、英語教育に力を入れたカリキュラム作りを行っています。2011年にまずは、小学部に金曜日英語の日を導入することで週10コマの英語学習カリキュラム(NY育英クロスメソッド*)を実現させ、日本人学校にしながらもアメリカ現地校での英語学習に匹敵する英語教育を推進し、バイリンガル児の育成に効果をあげつつあります。

さらに、2017度からはより早期のバイリンガル教育を望む声を受け、幼児部にも毎日の英語を導入し、「プリクロスメソッド」と名付けました。

NY育英プリクロスメソッド



プリクロスメソッドでは、日本語が母語となるようなバイリンガル教育を目指しているため、まずは日本語を定着させ、年齢に応じて徐々に英語での活動の時間が増えるカリキュラムとなっています。

年少組は、アメリカ人講師による英語の時間を毎学期1回ずつ増やし、3学期には週3回の英語の時間がある他、朝の自由遊びの時間に英語講師が入ります。年中と年長組は、月曜から木曜まで週4回アメリカ人講師による英語の時間がある他、金曜日はバイリンガルの時間として、日本語での活動に英語でのアシスタントが入ります。さらに、全クラス英語講師とのランチの時間を設け、普段の生活の中で子どもたち一人一人が英語で会話をするチャンスを設けています。

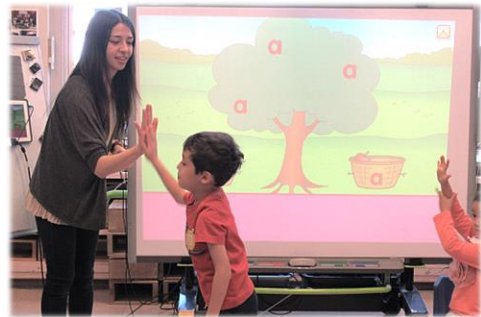
これの改訂により、小学部の英語カリキュラムへのスムーズな移行および、英語レベルの底上げが期待されています。



現地校と同じ教材を使って学習

年長組では、現地校のKindergartenでも使用されているScott Foresman社のリーディング教材であるReading Street Kレベルのワークブックや絵本を使用しながら、様々な単語や会話表現を学んでいます。また、アルファベットやフォニックス、さらにSight Wordsの学習もしています。

最近では、現地校のKindergartenでも、スマートボードを使って視聴覚教材を使うところが増えてきています。年長組でも、時折スマートボードを使い、子どもたちの興味を引き出しながら学習しています。



まずはオーラルでの英語を

年中組や年少組では、普段日本語での園生活に必要な先生の様々な指示の言葉や、友だちとの遊びで使う表現、そして身の回りのものの言葉を英語で聞いて分かる、自分からも簡単な英語で表現できるといった、英語のオーラル・コミュニケーション力の育成を目標に置いた活動しています。

例えば、“Can I join?” “Do you want to play?” “Let’s take turns!”といった友達との遊びの中で使う表現をみんなで練習した後に、歌やゲームでその表現に慣れさせ、さらに自由遊びの時間に英語講師と一緒に遊びながら実際に使う機会を設けることで、自然と英語での表現が身に付くようにしています。

家でも英語の歌をロズさんたり、公園で出会った新しい友達と英語で会話をしたりする風景が見られるようになってきたようです。



*小学部の「NY育英クロスメソッド」は、毎日1コマの英語学習と金曜一日英語集中プログラムの複合型カリキュラムによる、基礎と応用のクロストレーニングを特徴とする、本学園独自のバイリンガル教育メソッド。1週間の中の時間流れをとらえるならば、横軸(毎日の英語学習)と縦軸(金曜一日英語集中プログラム)と縦横にまたがる十字(クロス)型となることから名付けられました。

お問い合わせ／全日制幼児部英語科コーディネーター：中川 晴美

NY育英学園全日制のバイリンガル教育

プラスαの英語アート！

専門講師を招いての特別アートのクラスも、今年度からは各クラス英語で行っています。90分という時間の中で、テーマに関連した本を読んだり、ビデオを見たり、歌やダンスをしたりした後、いつも新鮮なアートプロジェクトに取り組み、思い出深い時間にする事で、英語が自然と体に染み込むような経験の場をクリエイティブしています。

第1学期は、年長組は、形やパターンについて学んだ後、点描の手法で小さく切った花紙をのりで貼りつけて日米国旗を作ったり、シンメトリー(対称図形)について学んだ後、洗剤の入った水を泡立ててペイントを色づけた後、画用紙を2つに折って蝶々の羽の片側のみにペイントを載せて左右対称の図柄の蝶々の羽を作るバブルアートにチャレンジしたりしました。

年中組は、虹について学んだ後、Somewhere over the Rainbowの歌のメロディーに合わせて、虹を構成する雨粒になった気持ちでダンスをし、その後、手にペイントを塗ってハンドスタンプの大きな虹を作ったり、いろいろな魚について学んだ後、海の魚たちをクレヨンで描き、海の水と泡をバブルペイントで描いたりしました。



年少組は、Rainbow Fishの絵本を読んだ後に、セロリの茎をウロコに見立てたスタンプでレインボーフィッシュを作ったり、Very Hungry Caterpillarの絵本を読んだ後に葉っぱを食べるCaterpillarを毛糸とポンポンを使って作ったりしました。



第5回 アメリカサマー留学～東北・九州被災地支援～

ニューヨーク育英学園では、2013年より東日本大震災遺児2名を学園主催のサマーデイキャンプに招待する企画を実施しています。毎年あしなが育英会に全面協力をいただき、日本国内での空港までの移動や付き添いなど、招待児童へのサポートをお願いしております。第5回を迎えた今夏は、小学生2名に加え16～21才の青少年2名を招待し、さらに2016年春に発生した九州大地震の被災者にも対象を広げました。

今年初となる青少年プログラムでは、熊本から男子高校生、宮城から女子大学生が来米。レイクグリーンリー(PA州)での育英宿泊キャンプにボランティアスタッフとして同行しました。2週間のキャンプ中、参加児童生徒のサポートを行いながら、得意の音楽を披露したり、サッカーで汗を流したり、世界中から集まる同世代のキャンパーたちと英語でコミュニケーションを取りながら、アメリカでしか味わえない経験をする事ができました。これから将来を決める大事な年代の二人にとって、今回の経験が二人の輝かしい未来に大

いに活かされることを願っています。

また小学生プログラムでは、小学5年生の男子児童と女子児童が東北から来米し、例年と同じく育英サマーデイキャンプに1週間参加しました。キャンプでは水泳や工作、流しそうめん、理科実験など様々な活動を楽しみ、休日にはNY&NJ観光。ヤンキースタジアムで田中将大投手の先発する試合を観戦するなど、終始大興奮でした。

本企画では、様々な団体・企業の皆様よりご支援をいただいております。本年度はIACE Travel社、JAL日本航空、ニューヨーク日系人会、Daily World Press社、Y's Publishing社等の企業の皆様や、個人の方にご支援をいただきました。誠にありがとうございました。また本学園に在籍されているご家庭にも、青少年・小学生のホストファミリーとしてホームステイにご協力いただいております。今年度も全日制小学部、サタデーマンハッタン校に在籍されている3家庭より、大変温かいおもてなしを頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ニューヨーク育英学園では、震災被害に遭った日本の子ども達への支援を一時的なものとして、今後も継続して「アメリカサマー留学」企画を実施して参る所存です。本企画へのご支援は、年間を通して受け付けております。招待児童・青少年の航空券をはじめ、使用目的を指定しての寄付も可能です。NY育英学園は米国非営利団体(IRS501(C)(3))として認定されており、米国での税金控除の為の証明書を発行できます。団体や企業の皆様、在籍家庭の皆様、また本企画へご賛同いただける個人の皆様からの温かいご支援ご協力をお待ちしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ／企画担当：島田 さゆみ



育英サタデースクール ニュージャージー校

育英サタデースクールニュージャージー校はニューヨークメトロポリタンエリアにあるニューヨーク育英学園傘下の様々な補習授業校部門（7校／部門）の最初の学校として1993年10月に開校。今年で創立25年目を迎えます。幼児部年中組・年長組合同クラス数名からスタートした部門でしたが、その後、小学部、中学部、高等部と順次開設し、現在約185名が毎週土曜日にNJ校に通っています。

<ニュージャージー校の特色>メインキャンパスであるNJキャンパスの全日制部門の校舎教室をそのまま使用できることが一番の利点です。幼児部、小学部に於いては全日制と同じ教室を使用していますので、日本の幼稚園や学校とほぼ同じ学習環境の中で一日を過ごすことができます。

今回は幼児部を主にご説明します。

<話し言葉 日本語>幼児部ではまずは幼稚園生活の中で日本語でのことばのやり取りが年齢相応に十分にできるよう、ごっこ遊びを大事にしています。幼稚園という集団生活の様々な活動の中で、保育者や子ども達どうしの対話を通して、「話しことば」を身につけ、園生活の中で実際に楽しみながら、言葉を使うことができるように心がけています。



この「話しことば」のやり取りが、後の「読み」「書き」の重要な礎となります。

お問い合わせ／サタデーNJ校ディレクター：上妻 雅浩

育英サンデースクール ニュージャージー校

育英サンデースクールは、本学園のランチの1つとして2008年4月より開校し、2017年4月で創立9周年目を迎えました。開校当初は少人数からのスタートでしたが、現在は幼児部年長から小学部6年生まで開設され、全在籍数が約80名となっています。文部科学省が定める幼児部教育要領、小学校学習指導要領をもとに保育・教育活動を実施しており、年間を通して、季節の行事、日本文化や日本語を大切に思う心を育てています。また、非常にアットホームな雰囲気の中、家庭と学園とが密に連携して運営されています。

日曜日の午後に勉強

サンデースクールの一番の魅力は、日曜日の午後からの保育・授業という点です。土曜日を家族と過ごし、日曜日の午前中には現地のクラブ活動などに参加して、午後からは比較的ゆったりとしたペースで日本語を学ぶことや日本語指導による習い事を、1日にまとめて参加することができるという点にあります。



お子様を日本語と英語のバイリンガルに育てようとお考えの保護者の方には、まずは、ご家庭での親子の会話を今一度、ご確認ください。そして、ご家庭での通常の親子の会話が日本語でない場合、次の英語で書かれたバイリンガル子育て座談会（保護者編）をご主人または奥様に是非お読みくださるようお願いめください。

【<https://JapaneseSchool.org/report>】
（JCS 機関誌 Friendship2017/winter号8ページ、2017/Spring号の10ページをご覧ください。）

<紙芝居>紙芝居は単にみんなでお話を聞くという活動ではありません。お話の中に飛び込み、登場人物と一体になって、恐るおそる怖いものに近づいたり、悲しんだり、怒ったり、泣いたり、喜んだりします。保育者が読み聞かせる話し言葉の抑揚や感情を共にすることで、体験（疑似）に基づいた生きた言葉を学ぶことができます。例えば、桃太郎に出てくる桃は川上から「どんぶらこ、どんぶらこ」と流れてくるわけですが、この様子が目に浮かぶのは、「どんぶらこー、どんぶらこー」と読み手が抑揚をつけて読み聞かせるからこそ伝わるものです。読み聞かせは語感を育むと同時に、何よりも大切な共感を育みます。ご家庭でも是非、たくさんさんの絵本を読み聞かせてあげてほしいと思います。幼稚園にはたくさんの紙芝居が用意されています。毎回、必ず、一話、みんなで楽しめます。

お問い合わせ先

場 所：NY 育英学園 NJ キャンパス 電 話：（201）947-4832
E-mail： satNJ.nyikuei@gmail.com

<様々な行事や制作活動>

日本の幼稚園行事は全て取り入れています。端午の節句やお月見、ひな祭りや節分等制作をしながら、行事にまつわる歌を歌ったり、制作活動を通して日本の文化に触れます。幼児期だからこそ、原体験として、これらの伝統的な活動に触れてほしいと思います。もちろん制作活動においても、言葉（日本語）のやり取り、つまり、言葉による指示に対して、要求された課題を頭の中で反芻（はんすう）し、理解していく活動を通して、ここでも話し言葉を学んでいきます。

<運動、体操の時間>

日本には独特の体育文化があります。幼児部では運動の時間を特別につくり、小学校での体育活動に繋がるように、跳び箱、マット運動、鉄棒などの運動遊びを取り入れています。また、一面芝生に覆われた幼児部専用の園庭で鬼ごっこをしたり、大きな砂場で砂遊びや泥んこ遊びなどを安心して行うことができます。

<幼児部の主な行事>

入園式・お花見昼食会
こどもの日・運動会
お月見・七五三・餅つき・節分・雛祭り・卒園式

<保育時間>9:15-14:20 *4時まで延長あり



*日曜野球教室（※親子での参加が可能）

初心者から上級者までの様々なレベルに応じた指導をしています。また、毎回の練習の最後には試合を行い、どのお子様でも楽しめるように、学園独自のルールを作り、試合をします。

【放課後】

*日曜ダブルダッチクラブ

アクロバットや縄の回し方などの基礎的な技術や運動能力向上のための指導を中心に行なっています。

常に宿題や課題に追われることなく、無理をせずに比較的ゆったりとしたペースで日英両語を学べることや、日本語による習い事が1日にまとめられます。



お問い合わせ先

場 所：NY 育英学園 NJ キャンパス
電 話：（201）947-4832
E-mail： SunNJ.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／サンデーNJ校ディレクター：大村 功

NY 育英学園主催コンクール・展示会



サタデーNJ校・サタデーM校では
自由研究発表会を
それぞれ実施しております



ニュージャージーキャンパス内および他部門から出品された全作品を一つひとつ審査し、「いいですね!」作品を選定しました。数年計画で進められている研究や、丁寧にまとめられた作品が多く、頑張ってきた様子が伺えました。



お問い合わせ／新企画担当：牧野 佳代子

NY 育英学園主催コンクール・展示会



夏休み自由研究合同展示会

今年で第4回目を迎えた、「ニューヨーク育英学園夏休み自由研究合同展示会」。NY 育英学園の様々な部門において、小学生以上の児童生徒が夏休みの間に知恵を絞り工夫を凝らした自由研究を合同展示したい、という思いから始まった催しです。

夏休み明けに子ども達から提出された自由研究は、まず各部での発表会や展示となります。ニュージャージーキャンパスでは、全日制小学部の発表会を皮切りにサタデースクールニュージャージー校の発表などがあり、サンデースクールの作品も含めてすべてが展示されます。また、サタデースクールポートワシントン校では小学部作品が展示をされるほか、サタデースクールマンハッタン校では小中学部それぞれで発表会が行われ、全作品が授業日に展示されます。

今年は9月28日から10月8日までの約2週間、たくさんの皆様に鑑賞いただきました。最終日は育英バザー当日ということもあり、子ども達の作品をじっくりと時間いっぱいご覧いただいた皆様も多くいらっしゃいました。ありがとうございました。

“いいですね！” シール

合同展示されている作品の中で、「創造性があり、自らの言葉と力でまとめたもの」と認められた作品には、選定委員会オリジナルの“いいですね！”シールが貼付されています。そのすべてが、委員それぞれを唸らせた力作です。なお、今年度分も含めて、これまでのすべての「いいですね！」作品は、NY 育英学園のホームページからご覧いただけます。



2017年度

第4回 NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会

～NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会選定委員会による「いいですね！」作品一覧～

所属名	学年	児童生徒氏名	作品名	
全日制 (ニュージャージー)	小1	青松 向大朗	「ヤサイのじかん」	
	小1	原 妃緒	「しおのけっしょうアート」	
	小1	川上 優羽	「うずをさがそう！ みてみよう！」	
	小1	太田 寛	「くじら」	
	小2	菊地 理央	「お平上づくり」	
	小2	山崎 玲奈	「キッチンペーパーのカラフルぞめ」	
	小2	ヒューブリー エミリー	「スライムづくり」	
	小3	スチュアート ジャックソン	「電気の流れる道」	
	小3	スチュアート スカーレット	「レモンバッテリー」	
	小4	桑原 大河	「おどろき！！ 1本のくぎからペーパーナイフに大変身！」	
	小4	星野 彩姫	「アメリカに住んだ初の日本人 ジョン万次郎」	
	小5	ウィルソン 梨香	「指紋」	
サタデー・スクール	小5	廣重 拓真	「野沢温泉村 温泉調べ」	
	小6	小松 ひなた	「かまぼこ研究の旅」	
	小6	石ヶ原 ジュリアン	「ゾウのはみがき」	
	NJ校	小1	安部 由真	「なないろのはなをつくってみよう」
		小1	ローズ ジェイムズ	「なつやすみに ほんのおもいで ひらがなかるた」
		小2	鈴木 健斗	「カマキリのすべて」
		小2	バベチユア ク里子	「海のライフ」
		小2	篠 峻介	「手うちそばのつくりかた」
		小3	岡田 周	「県立場見学」
		小3	大嶋 心夏	「みのまわりの物で草木ぞめ」
		小4	横山 真菜花	「スイカとしおのハーモニー」
		小4	福岡 仁義	「袖染について」
		小5	中村 降悟	「バナナの口やけ実験・紫外線の研究」
		小5	岩崎 厚樹	「日本の城」
		小5	空閑 穠	「ラーメン」
		小6	コンシダイン 敬	「浸透圧ってなに」
		小6	小林 美遙	「果物や野菜についているシール番号とは」
		小6	バセット マーティン	「天下分け目の関ヶ原の戦い」
		高1	岡本 かおる	「未来の農業 【アクアポニックス】へ地球に最も優しい農法へ」
	PW校	小1	熊坂 佳一郎	「大まかしの生物 アイウエオ」
		小1	磯崎 海登	「目山研究：絵本づくり うごきにくい あひる」
		小1	岩崎 巧光	「えいごについてのじゅうけんきゅう」
		小1	福岡 勇太	「夏休みの自由けんきゅう」
		小1	東山 祥乃和	「ほうせきのひみつ」
		小2	山西 作苗	「色いろなおやつづくり」
		小2	山原 悠暉	「ガーベラ」
		小2	小林 利史	「がつときよくについて」
		小2	弦巻 夕望	「ナイアガラたたき」
		小3	ドネリー 優希	「鳥の餌！捕食者の襲ひみつ」
		小4	東山 祥穂希	「宮の出るしくみを調べてみよう！」
		小4	東山 祥来杜	「チリメンモンスタ-をさがせ！」
		小4	中原 瑠貴	「アラスカの動物」
		小5	野田 香月	「贈贈訓練の違い」
		小5	名取川 さくら	「ライフハック」
	M校	小1	青木 海緯	「おきなわの あおのどうくつ」
		小1	ラウ 剣真	「とんがり さかなぞめ」
		小1	稲垣 寧	「うみと さかなと わたし」
		小2	トクタマン 仁華	「たねさがし」
		小3	松本 郁太朗	「湯宿院あいぞめ」
		小3	野田 咲良	「食品のビタミンC調べ」
		小4	マーテル ヲディア望	「ふしぎな むすび口 あわじむすび」
		小4	牧野 勝希	「たまごの研究」
		小4	坂本 柊	「火舞／ひまひ（トーチ）」
		小5	藤村 伴怜	「でんごんを調べてみよう！」
		小5	炭元 美乃	「あ、ふくらんだ！」
		小6	モリス 寿貞	「徳川家康の「条城」
		小6	安井 咲月	「赤キャベツPHテスト」
		中1	船引 杏苗	「生物の仕組みを観察する」
		中1	岩村 美弥	「お菓子に使用される化学反応と原理」
サンデースクール	NJ校	中1	富田 愛花里	「レオナルド・ダ・ビンチ」
		中3	大前 愛	「環境が成長にもたらす影響」
		中3	加藤 芳朗	「色覚異常」
		小3	北川 郁	「キャプテンアメリカのたて」
		小3	藤田 大	「ありじごく」
フレンズアカデミー	NJ校	小5	小毛田 慶花	「せんたくの達人になろう」
		小5	藤田 めい	「どうぶつの口のみえかた」
		小4	ローエンハー ジュリアン	「人さきゅう」
アフタースクールNJ校			(出品がありませんでした)	
ホームスクールシステム			(出品がありませんでした)	

育英サタデースクール マンハッタン校

育英サタデースクールマンハッタン校は

1997年に開校しました。幼児部、小学部、中学部まであります。マンハッタンでも指折りのプライベートスクールを借用しそれぞれの発達段階に応じて、日本語を軸とした教育を毎週土曜日に行っています。



マンハッタン校の特色

進級進学テスト

1年間の保育・学習の半期にあたる9月末に、それぞれの学年での言語や学習の定着を確認するため、進級進学テストを実施しています。その結果をもとに個人面談を実施し、学校とご家庭とでお子様を育む課題や目標を確認し合います。

科学実験講座

年に1回、小中学部はそれぞれ科学実験講座を行います。「水の力」をテーマにした実験では、ペーパークロマトグラフィーで水の凝集力と毛細管現象を学んだり、浮沈子で浮力について学んだりしました。地層のでき方や、地層研究に関する講義を行いその後ボーリング実験を行ったこともあります。人体を科学的に捉えて動きに変える活動、染色実験等もしています。

育英サタデースクール ポートワシントン校

「変わらないですね。懐かしいです。」

9月、秋の大運動会。ボランティアとして手伝いに来てくれた卒業生の眩き。昔と変わらない校舎。ポートワシントン校 (PW校) 開設当時からのメンバーも残る、経験豊富な教師陣。

1999年の開設以来、18年目を迎え、幼児部年中から高等部2年生までの在籍者数は、ニューヨーク育英学園の全部門の中で最大規模を誇ります。

PW校は「アットホームで温かい雰囲気の中、卒業生や退園者の母校になる」というニューヨーク育英学園の良き伝統が、確かに受け継がれています。

全校一丸『秋の大運動会』

毎年9月、爽やかな秋晴れのもと、『秋の大運動会』を行います。ボランティアの保護者や卒業生の協力で作上げた競技会場に、幼児部から高等部まで、約二百名の子ども達が待ちきれない様子で集まります。紅白に分かれた子ども達は、ダンス、徒競走、大玉運び、二人三脚、綱引き、リレーなど、運動会ならではの種目で競い合います。特に、全校生徒が参加するリレーは白熱の盛り上がりを見せます。放送をはじめ、音響、道具運び、得点計算など運営の大部分が高等部や中学部の生徒によって行われ、昨年度担当した仕事内容を後輩に申し送る様子など、同校の誇る

放課後活動

幼児部はベビーシッタールームのお預かり、小学部は合唱クラブ、リズムダンスクラブ、小中学部は書写クラブ、自習室、そして中学部はアドバンスクラスがあります。合唱クラブは卒業式に美しい歌声を響かせたりポートワシントン校合唱部とともに外部コンサートに出演したりしています。書写クラブは硬筆を中心に美しい字を学び、運動会の会場サインはすべてクラブ所属児童生徒の毛筆作品で飾られます。リズムダンスクラブは運動会のオープニングや縄跳び大会において、アップテンポの音楽とともに素敵なダンスで彩りを添えてくれる存在です。そしてアドバンスクラスは、国語と数学を隔週で行い、教科書では学べない内容や学年の枠に捉われない問題に挑戦しています。

また毎年12月にはリズムダンスクラブ、合唱クラブ、書写クラブが合同で発表会を開催しています。

全校遠足

各部で秋の遠足を実施しています。目的や場所によっては学部合同で行うこともあったり、逆に小学部でも低学年と高学年に分かれて実施したりすることもあります。博物館や水族館、美術館や動物園、サイエンスセンターなど、子ども達の興味や発達段階に合わせて楽しく学ぶ日となっています。

お問い合わせ／サタデーM校ディレクター：牧野 佳代子

育英サタデースクール ポートワシントン校

べき伝統となっています。小学部児童は、上級生の活躍を見て、「中学生になったら放送係になりたい。用具係をやってみたい。」など、楽しみにしている様子です。全校が一丸となって一つの行事を作り上げます。



友情を深める『秋の遠足』

幼児部から高等部の全校で、毎年『秋の遠足』が恒例行事になっています。学校を出て、校外で学習することは、友情を深める絶好の機会です。同校は、週一回の学校ではありませんが、日本語での授業の中に、できるだけ体験的な学習を取り入れ、子ども達の学習意欲を高められるように工夫しています。遠足では、学部ごとに行き先を選定し、それぞれの発達段階に合わせて、目的を持って学習活動ができるよう計画しています。毎年、帰りのバスの中で「楽しかった。またみんなで色んな所に行ってみたい。」との言葉が聞かれます。秋らしい一日を思う存分満喫できた証です。友達と一緒に過ごすことの楽しさを感じ、現地校の学習と日本語でのサタデースクールの学習の両立に励んでいる子ども達にとって、友情を深められる一日となっています。

お問い合わせ／サタデーPW校ディレクター：川添 太久真

入園入学・編入について

お陰様で毎年たくさんの皆様から出願や登録を頂いています。例年、小学部高学年と中学部を除きすべてのクラスが定員に達しており、またウェイティングもたくさん出ております。入園入学や編入をお考えの場合は早めにご連絡いただけますようお願いいたします。（ご見学は要予約。）

なおマンハッタン校の入り口となる幼児部年中組は出願者が定員数を超えることが多く、審査の前に抽選を実施しております。



お問い合わせ先

場 所：（借用校1）Friends Seminary
（借用校2）Grace Church School
電 話：（201）947-4832
※土曜日のみ (201) 637-3927 / (201) 449-4501
E-mail：satM.nyikuei@gmail.com

充実のアフタースクールプログラム

児童や生徒の可能性をより広げるために希望者を対象に、アフタースクールプログラムを実施しています。

- 書道（毛筆・硬筆）
- 音楽部
- ダブルダッチ
- 総合体育教室
- アドバンスクラス国語・数学

【平日アフタースクール】

- ❖ 英検対策講座
- ❖ 特別国語教室
- ❖ いろはにほんご教室
 - ・ 作文教室
 - ・ 土曜日国語クラス
 - ・ 漢字教室

◎図書も充実しております。

貸し出し日時：平日 10 時～3 時

（お問い合わせ先）

E-mail: AfterPW.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ先

場 所：（借用校）Carrie Palmer Weber Middle School
電 話：月～金：516-767-3139
月～土：516-455-3871
土のみ：201-362-5678
※月～金・午前 10:00～午後 3:00
E-mail: SatPW.nyikuei@gmail.com

全日制たんぽぽ幼稚園

マンハッタンキャンパス全日制たんぽぽ幼稚園では、園児たちは元気いっぱい毎日過ごしています。

本園では日本の幼児教育要領に準拠しつつ、アメリカの幼児教育のカリキュラムや教材等を積極的に取り入れ保育を行っています。具体的に述べると、日本的な集団活動や生活様式を体得しつつ、アメリカの幼児教育カリキュラムに導入されている、自然科学や天体などのアカデミックな内容を日常の保育活動の中に取り込んでいます。いわば、両国の教育の長所を取り入れ保育を実践していると言えます。

アカデミックな内容を学ぶ時は決して、机上で教え込むのではなく、日常生活・遊びの中からトピックスを抽出します。それを教師が子どもたちの発見や疑問へ結びつけ、対話を通す中で理解を深めていきます。なぜこのような方法を取るかというと、暗記や単なる知識の詰め込みでは薄っぺらな知識となり、自らの思考につながる知性にはつながっていかないからです。

近年、日本では知識偏重の教育が見直され、「考える力」すなわち思考を育てる教育実践へと移行しています。課題に対して、自らの考えを明確にし、「なぜそのように考えたか」についての論理的な説明。次に他者との意見交換・議論、そして「分かったことを最後に自分の言葉でまとめる」考察。このような論理的な思考過程を育てる素地を本園では幼児期から積極的に取り入れていきたいと考えています。

また、様々なことに疑問を持ち、たくさんのことにについて知りたいという心を持つ「知りたがり屋」、失敗を恐れずに何事にも果敢に挑戦してみたいと考える「やりたがり屋」、分かったことや疑問、発見したことを沢山のの人に伝えたいと思う「話したがり屋」になって欲しいと考えています。

そのためにも、幼稚園が「安全に安心して過ごすことのできる環境」であり、「自由闊達に話し合える場」でなくてはなりません。

今後もより一層教職員一同、研鑽を深めていきたいと思ひます。



アフタークラス

アフタークラスではニューヨーク及びその近郊で学ぶ子どもたちに向けて、それぞれのニーズに合わせた様々なクラスを展開しています。以下が現在開講しているクラスの一覧（一部抜粋）となります。

- ★いろは日本語基礎教室（3歳～年長児）
- ★いろは国語教室（小1～中1）
- ★国語算数教室（小学1年～6年）
- ★中学数学教室（中1～3年）
- ★高校国語教室（高1、高2）
- ★英検試験対策講座（受験級によって対象は異なります）
- ★うんどうクラブ（3歳～年長児）
- ★書道教室（4歳～大人）
- ★どれみふぁクラブ（3歳～年長児）
- ★音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）（3歳～年長児）



今回は上記の中から3つの教室について詳しく紹介いたします。

いろは日本語基礎教室（3歳～年長児）

現地校が終わった放課後、園児たちは日本語の学習のために登園します。そこでは日ごとに設定されたテーマを基に、活動や体験を通す中で日本語の語彙や言葉、表現を学びます。また日本の季節の行事や伝統文化についても体験します。

うんどうクラブ（3歳～年長児）

年間を通して球技運動（サッカー、ボール投げ等）器械運動（マット、鉄棒、飛箱等）陸上運動（リレー、かけっこ、ジャンプ運動等）、縄跳び運動に挑戦します。運動を通じて豊かな人間形成を築きます。

どれみふぁクラブ（3歳～年長児）

歌ったり、リズムに合わせて体を動かしながら音楽を身体全体で楽しみます。また、合唱や楽器などにも挑戦します。

子育て支援広場「ぽっぽ」

子育て支援広場「ぽっぽ」は、未就園のお子様とその保護者の方たちが気軽に集い、楽しく遊び、子育ての輪を広げる交流の場です。毎月、おもちゃ遊びや工作、リズム体操、パネルシアターなど親子で楽しめる活動をご用意しています。子育ての相談にも応じています。親子でぜひ遊びにいらしてください。

ウィークエンドスクール

ウィークエンドスクールは土曜日午前、土曜日午後、日曜日午前、日曜日午後の4クラスに分かれて開講しています。幼児教室Ⅰ・Ⅱ、小学生を対象とした国語算数教室、国語教室、日本語教室、中学・高校生を対象とした国語教室があります。

そこでは日本からやってきた人、アメリカで生まれ育った人、日本以外の外国からやってきた人など、様々なバックグラウンドを持った子どもたちが週末に集まって日本語を学んでいます。



サマースクール

6月末から8月末までの10週間に渡って実施されました。延べの参加者は100人を超え、とても賑やかなサマースクールとなりました。

今回、小学部では週ごとに「理科・算数」「アート」「スポーツ」「ダンス」「アドベンチャー」等のテーマを設け、様々なことに挑戦しました。「理科・算数」の週には紙のサッカーボール作り、ジャガイモを使ったでんぷん抽出実験、塩と氷を使ったアイスクリーム作り、酸を使った銅磨き等、子どもたちは科学の面白さを存分に味わいました。

その他の週には、夏祭りの縁日、ダンスのプロモーションビデオ制作、落語発表会、飯ごう炊さん、リサイクルアート等盛りだくさんの内容が行われ、子どもたちは終始満面の笑顔でした。



12月27日（水）～29日（金）まで行われる**ウィンタースクール**では、日本の文化体験をテーマに、駒回し、羽子板など正月の遊びやクッキング等様々なプログラムを用意しています。この他に3月26日（月）～28日（水）に**親子スプリングスクール**が予定されています。

お問い合わせ先

場 所：310 West 103rd Street
New York, NY 10025
電 話：（212）935-8535
E-mail：Friends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

ダブルダッチクラブ ダブルダッチチーム



近年、絶好調の入賞結果を出している**ダブルダッチチーム**の紹介です。



〈大会入賞記録〉

2011年	アポロシアター大会	優勝
2012年	アポロシアター大会	準優勝
2014年	NJ ステート大会	優勝
2015年	ADDL 東海岸大会	準優勝
2015年	アポロシアター大会	準優勝
2016年	NJ ステート大会	優勝
2016年	ADDL 東海岸大会	優勝
2017年	NJ ステート大会	優勝
2017年	ADDL 東海岸大会	準優勝
2017年	New York 初開催のリンカーンセンター大会にて優勝	

ダブルダッチは、2本のロープを使って跳ぶ縄跳びで、向かい合った2人の回し手が回すロープの中で跳ぶスポーツです。

2017年夏、世界で初めてダブルダッチが行われたリンカーンセンターで30年ぶりに大会が開催されました。NY 育英学園の児童・生徒は跳んだ回数を競うスピード部門と演技部門に出場しました。2017年度のチームは幼児部からダブルダッチクラブに在籍し、練習してきたメンバーを中心に構成されています。スピード部門では何度かミスをしてしまった児童、ノーマスで跳びきった児童がおりましたが、準優勝を獲得しました。演技部門では、屋外での大会のため、多くの一般客やメディアがある中、練習の成果を出し見事優勝を成し遂げましたが、とても良いチームワークで楽しんで参加していました。毎年出場している12月のアポロシアター大会や標準記録の高いUSA JUMP ROPE 団体の主催する大会出場を目指し、日々練習していきます。

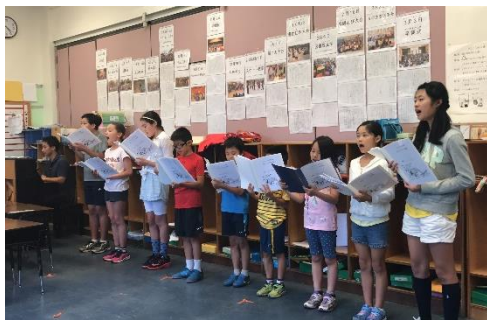
NY 育英学園ダブルダッチのクラスは世界選手権優勝経験を持つ指導者が指導にあたります。

- ・全日制幼児部 毎週火曜日 2:30～3:20
- ・全日制小学部 毎週火曜日 3:40～4:40
- ・ダブルダッチチーム（週複数回）
- ・日曜ダブルダッチクラス 5:00～6:00

アフタークラブ・ワークショップ

- ・日曜 寺子屋アカデミー
習字・そろばん・アート・理科実験・料理教室などユニークなプログラムで、様々な知識や技術を習得しませんか？
★日時 毎週日曜日 10:15～12:20（2コマ）
★対象 小学1～6年生

- ・合唱部
2017年度より新たに発足したワークショップです。1学期末には少ない練習日数ではありましたが児童たちによる小さな合唱発表会を開催し、「つばさをください」、「ビリーブ」など有名な歌を熱唱しました。最初は声の出し方や音程合わせに苦労しましたが本番には何とか間に合い、ハーモニーを奏でていました。今も表現豊かな音楽専門の講師とカーネギーホールやシンフォニースペースでのコンサートを目指し、毎週 NY 育英学園 NJ キャンパスから合唱の歌声を響かせています。NY 近郊の大きな舞台での出場を目指していきませんか。
★日時 毎週月曜日 3:40～4:40
★対象 小学生以上



- ・書道教室
書道教室は週に1回1時間程度の時間で毛筆・硬筆の両方を行います。書道教室は静かに、集中して、話をする事は厳禁、というイメージがありますが、水曜書道教室では作品を見る力を養うために、自分が書いた作品を受講生同士で鑑賞し合い、話し合う時間も設けています。自分の思う文字が書けた時の嬉しさ、文字を綺麗に書くことの大切さを目標に練習していきます。また、展覧会や新聞社にも作品を出展していきます。みなさんも、綺麗な文字を書いてみませんか。
★日時：毎週水曜日 3:45～5:10
★対象：年長～大人

お問い合わせ先

場 所：NY 育英学園 NJ キャンパス
電 話：（201）947-4832
E-mail：AfterNJ.nyikuei@gmail.com

2017年度 NY 育英学園主催 日帰りスキー教室 &宿泊スキーキャンプ

毎年恒例の**スキーキャンプ**を今年も開催します。初心者でも大丈夫です。日本語で指導をします。



【日帰りスキー】

2017年12月17日
2018年1月7日
2018年1月21日
2018年1月28日
2018年2月11日
★対象：小1～中3／定員：各回40名

【宿泊キャンプ】

2017年12月26日～29日
2018年2月19日～21日
★対象：小3～中3／定員：各回40名

毎年大人気のNY 育英学園日帰りスキー&宿泊スキーキャンプが今年度も開催されます。過去計5回の日帰りスキーと宿泊キャンプに参加した初心者だった参加者は驚くほどの成長を見せ、上級コースで滑れるようになりました。

NY 育英学園のスキーキャンプは全くの初心者でも安心です。リフトに乗れない子どもはNY 育英学園の経験豊富な指導者と一緒に安心して乗ることが出来ますし、現時点で中級者ならばパラレルターンのような高度なテクニックを指導してくれます。宿泊キャンプならではのレクリエーションや日本メニューの手作り料理も魅力です。今シーズンの参加をお待ちしております。



お問い合わせ／アフタースクール・クラブディレクター：加藤 義隆

2018年度 募集要項・登録要項

部門	学部	学年	定員	募集期間	審査試験日
ニュージャージーキャンパス					
全日制ディスクール	幼児部	年少	26	2017年12月1日～2018年1月8日まで	2018年1月26日
	小学部	小1	24	2017年12月1日～2018年1月5日まで	2018年1月12日
アフタースクール	幼児部	年少～年長	10	2017年12月1日～2018年3月29日まで	随時
	小学部	小1	12	2017年12月1日～2018年3月29日まで	随時
サタデースクールN J校	幼児部	年中	24	2017年12月1日～2018年1月6日まで	2018年1月20日
	小・中・高	小1～高2	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
サンデースクール	幼児部	年中～年長	20	2017年12月1日～2018年1月7日まで	2018年1月21日
	小学部	小1～小6	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
いろはにほんご教室	国語クラス	小学生	8名	学年についてはご相談ください。	なし
	日本語クラス	小学生	8名	学年についてはご相談ください。	なし
	Nihongo	小学生	8名	学年についてはご相談ください。	なし
りんごラーニングセンター					
きりんの部屋 こども園	2歳半～年長		30名	異年齢クラス	
親子クラス	1歳以上、2歳程度		10名	1歳以上（火・木）・2歳程度（水・金）	
語学部門	幼児～大人				
マンハッタンキャンパス					
サタデースクールM校	幼児部	年中～中3	18	2017年12月1日～2018年1月6日まで	2018年1月20日
	小・中	小1～中3	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
フレンズアカデミー					
＜週日クラス（月～金）＞					
全日制たんぽぽ幼稚園	幼児部	年少～年長	15	2017年12月1日～2018年1月5日まで	2018年1月25日
親子教室	およそ1歳～3歳未満		7組		
幼児教室	3歳～年長児		12		
＜アフタークラス＞					
いろはにほんご教室（日本語基礎教室・国語教室・Japanese Lesson for Adult・国語算数教室）中学数学教室、高校国語教室、書道教室、音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）、うんどうクラブ、どれみふぁクラブ、英検対策講座、プライベートチュータリング、プライベートレッスン					
＜ウィークエンドスクール＞					
幼児教室Ⅰ・Ⅱ、いろはにほんご教室（日本語教室・国語教室・国語算数教室）中学国語教室、高校国語教室、英検対策講座、音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）					
ポートワシントンキャンパス					
サタデースクールPW校	幼児部	年中	20	2017年12月1日～2018年1月6日まで	2018年1月20日
	小中高	小1～高2	若干名	ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。	随時
アフタースクールPW校	特別国語教室		小学1年生～中学3年生		
	英検対策講座		小学1年生～大人		
	いろはにほんご教室		土曜日国語クラス、作文教室、漢字教室		

※ウェイティングを受付中の部門・学年もありますので、お申し込み前にまずはお問い合わせください。

～NY育英学園N J キャンパス全日制における英語教育～

NY育英学園全日制小学部では、2011年度より英語の授業数を週あたり10コマに増やし、英語やその他の教科や様々な総合学習を英語で行う「金曜一日英語の日」を導入しています。月曜日から木曜日の毎日1コマの英語学習に加え、金曜日は英語科教師が担任として授業もホームルームも全て英語で行うという金曜一日英語集中プログラムの二本立てによるあ「NY育英クロスメソッド」を確立し、その効果をあげています。このNY育英学園独自のメソッドにより、日本からアメリカに来て、英語をあまり勉強したことがない子どもたちにバイリンガル教育を提供し、現地校にチャレンジできるようにする現地校へのソフトランディングをサポートしたり、現地校生活が長かった子どもたちに英語力を維持しつつも日本語による学習能力を身につけながら日本式の学校生活に慣れることが出来るようにする日本帰国へのソフトランディングも応援しています。

また、全日制幼児部では、早期の英語教育を求める声に応え、母語である日本語を育みながらも、英語により慣れ親しむため、2017年度からは英語の時間を増やしました。毎日英語の時間を設けると共に、英語でのアートの時間を設けたり、年長と年中は金曜日にそれぞれ90分のバイリンガルの時間を設けるなど、小学校からの金曜一日英語の日の準備過程を設けることで、幼児部のうちから英語での生活にも慣れることをが出来るようなシステムとなっています。

お問い合わせ／事務主任：園田 稚香



りんごラーニングセンター

きりんのへや こども園

「かけがえのない幼児期を日本語で」をモットーに、きりんのへや こども園では、日本語による長時間保育を行っています。四季折々の日本の文化や伝統行事をふんだんに取り入れ、みんなで楽しめます。紙芝居や日本の歌、わらべ歌、手遊び歌などを園生活に組み入れ、日本語による保育を充実させています。また、野菜の種を蒔いて、水をあげたり、観察したり、最後には収穫もして昼食と共に頂いたり、植物の成長も一緒に体感したりもします。

基本的な生活習慣や言語力を培おうとしている、2歳から4歳の一番大切な時期を、お子様の年齢や個性に合わせ、細やかに対応できるアットホームな環境と保育士を揃えていることが、きりんのへやの自慢です。日本語のシャワーをたくさん浴び、いっぱい日本語のお喋りをして、すくすくと成長していくこども園の園児たちは、毎日元気な笑顔を見せてくれています。



親子教室

ニューヨーク育英学園の親子プレイグループは、今年で18年目になります。長年培った経験を活かし、たくさんのお子さんが、元気に楽しい時間を過ごせるようなクラスが設定されています。この教室が、我々ニューヨーク育英学園の入り口となっています。親子プレイグループでは、人間形成の土台づくりに重要な乳幼児期に、他の親子と一緒に遊びを楽しむことで親子関係の安定をはかることを大切にしています。お子さんはもちろん、お母さん、お父さんにも友達ができて、親子共に有意義な時を過ごすことができます。

プログラムには、懐かしい日本の歌、手遊び、絵本の読み聞かせ、そして季節折々の行事を取り入れ、子どもたちは、自然に日本文化に親しんでいきます。

クラスは「お母さん・お父さんと一緒」のクラス（ひよこ組）から「少しずつ一人でできる」クラス（うさぎ組）に進み、お子様の自立心も養われていきます。



語学部門

りんごラーニングセンターの語学部門は、2009年度開校以来、子どもから大人まで、様々なニーズに合ったクラスを開講してきました。英語のみならず、日本語をじっくり学ぶ「いろはにほんご教室」や書道教室など、様々なことに挑戦できるのがこのりんご語学部門です。いくつか人気のあるクラスを紹介いたします。

<英検対策講座>

年に3回実施される実用英語検定に向けての、少人数でのグループレッスンです。試験を受けるときの注意点や、各問題を解くときのコツと勉強の仕方、弱点の克服法など、それぞれの受験者に合わせた丁寧な指導をしてまいります。

2016年度の改定により、2級に英作文が導入された他、評価方法が変わり、語彙・読解、リスニング、ライティング力をバランス良く向上させないと合格が難しくなりました。そして、2017年度からは準2級、3級にも英作文試験が導入されました。りんごラーニングセンターの英検対策講座で、しっかりと鍛えることができます。

<いろはにほんご ワークショップ>

この語学部門では、日本語のサポートも行っています。中でも大人気なのが、漢字音読ワークショップです。2017年度からは、文章を書く指導も取り入れています。現地校に通いながら、日本語をもっと楽しく学びたい子ども達に最適なクラスです。

<Welcome to America>

日本から来て間もない現地校に通う子ども達にぴったりのクラスです。

子どもは英語の環境に浸かっているといれば、すぐに日常会話なんてできるようになる、と言うのは必ずしも正しいとは限りません。子どもによっては、英語が分からないために、学校に行くのが嫌になり、英語を拒否してしまう子もいます。現地校のESLも大抵年齢やレベルの違う子ども達の混ざったクラスであることが多く、自分にあった内容の勉強ができずに、先生や友達は何をやっているのかわからないまま、毎日を過ごしてしまっている子ども達もたくさんいます。このWelcome to America 集中ESLクラスでは、そんな子ども達に、日英バイリンガル講師が、わかりやすく基礎英語を指導し、現地校での生活が少しでも早く楽しくなるよう応援しています。



土曜日のプログラム

英語の語学部門では、「サタデー英語補習教室」が開講しています。将来、現地校への編入・入学を考えている日本人学校の子どもたちや、現地校のESLクラスで頑張っているけれど、日本語のサポート受けながら学習したい子どもたちのためのプログラムです。講師は現地校での指導経験のあるアメリカ人講師と日本人バイリンガル講師が担当しています。短すぎず、長すぎない授業時間の中で、少人数で効率的に集中して英語を学習することができます。（2017年度2学期からは、土曜日だけでなく平日アフタースクールにも同様のクラスを開講しています。）

また、保育部門では、大好評の「親子で遊ぼう！土曜体験イベント」を1歳～2歳程度の乳幼児対象に、月に2回開催しています。土曜日なので、お母さんだけではなく、お父さんも一緒にこのイベントに参加することができます。日本の伝統行事にちなんだ活動をして、楽しい思い出を作っています。イベントの後は、ベテランの保育士たちが子育ての相談や質問に応じ、和やかな集まりとなっています。



りんごのサマーキャンプ

6月末より始まったりんごラーニングセンターの英語サマーデイキャンプも、9月の現地校の新年度開始と共に終了しました。今年度も1st・2ndセッションは定員一杯となったほか、3rdセッションや4thセッションもたくさんのお子さんが参加してくれました。大人気の1st&2ndセッションでは、丸一日英語でアート、スポーツと楽しい活動をして過ごし、毎週フィールドトリップにも出かけました。半日キャンプの3rdと4thセッションでは、楽しい活動をしながらも、英語をしっかり学習しました。少人数クラスなので、先生とじっくりと会話ができ、英語力がみるみる向上していきました。

また、保育部門のきりんのへやでは、7週間の夏ならではのキャンプを楽しみました。水遊びや泥遊び、シャボン玉やお祭りごっこを経験し、心も体も大きくなりました。来年もたくさんのお子さんの参加をお待ちしています。



お問い合わせ先

場 所：2460 Lemoine Avenue
Fort Lee, NJ 07024
電 話：（201）947-4707
E-mail：Ringo.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 綾子

